

移動等円滑化取組計画

2019年12月

湘南モノレール株式会社

移動等円滑化取組計画 2019

I 現状の課題及び車両等の整備に関する事項

(1) 旅客施設及び車両等の整備に関する事項

- ①バリアフリー法に基づく全8駅の段差解消に向けて、スロープやエレベーターの設置に取り組んでおり、スロープにより1駅、エレベーターの設置により4駅、他社の管理するエレベーターにより1駅、合計6駅の段差が解消しており、湘南深沢駅は2021年度に段差解消工事を行う。
- ②トイレのバリアフリー化は、2駅で完了し、2020年度に1駅の工事を行う。
- ③車両については、全7編成がバリアフリー化を完了している。
- ④触知案内板は、湘南深沢駅2021年度、大船駅2022年度、片瀬山駅2023年度、目白山下駅は段差解消時にそれぞれ設置する。
- ⑤内方線付点状ブロックは、全駅に設置完了した。

(2) 旅客支援、情報提供、教育訓練等に関する事項

- ①車いす補助板は、湘南深沢駅2021年度、目白山下駅は段差解消時に設置する。
- ②当社では音声による駅構内での情報提供について対応が遅れていたため、利用者数が多い大船駅、湘南町屋駅において自動音声によるトイレ位置を案内する設備を設けるなど、音声案内を充実させる。
- ③旅客に接する社員は、民間資格であるサービス介助士の資格取得に努める。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設	計画内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
駅トイレのバリアフリー改修	・構造上駅構内に障害者対応型トイレを設置することが困難である湘南町屋駅について、障害者対応型トイレが設置されている駅への案内体制とする。(2019年度)

- ② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計画内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
乗降補助サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・段差が解消されていない駅員無配置駅（湘南深沢駅、目白山下駅）で車いす・ベビーカーを利用するときは、券売機横のインターホンにて大船駅で連絡を受け、係員を派遣する介助とする。（2019年度）

- ③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計画内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
駅構内での自動音声案内の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・大船駅・湘南町屋駅において自動音声によりトイレの場所を案内する設備を設ける。（2019年度～2020年度）
乗降補助サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・事前連絡するための連絡先及びインターホンについてウェブサイトで行っている。（2019年度）

- ④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計画内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
障害者の接遇に関する民間資格の取得促進	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客に接する社員に対して、2025年度までに民間資格であるサービス介助士資格を取得させる。（2019年度5名受講）
乗降補助サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降補助サービスで乗降補助の連絡を受けた際に係員が対応できるようにするための研修を実施する。（2019年度）

III 移動等円滑化の促進のためIIと併せて講ずべき措置

<ul style="list-style-type: none"> ・旅客に接する社員にについて、バリアフリーに対する理解度を定期的に図るべく試験を実施する。（2019年度）

IV 前年度計画からの変更内容

対象となる旅客施設 及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由
・なし		

V その他計画に関連する事項

・なし
